

第24回「静岡の名手たち」オーディション合格者決定！

4/28(日)打楽器部門、声楽部門

4/29(月・祝)弦楽器部門、アンサンブル部門

去る4月28、29日の両日、第24回「静岡の名手たち」オーディションが行われ、審査の結果、6名の方が合格しました。合格者のみなさんは9/14(土)第24回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサートに出演します。あなたも新しい才能が羽ばたく舞台にぜひ！

[打楽器部門] 蘆澤奈津(マリンバ)
末吉保雄：マリンバのための《ミラージュ》

[声楽部門] 岡本実佳(ソプラノ)【コンチェルト賞】
V.ベッリーニ：歌劇《ノルマ》より〈清らかな女神よ〉
松下美有紀(ソプラノ)
G.シャルパンティエ：歌劇《ルイーゼ》より〈その日から〉
宮田優(メゾソプラノ)【ロダン賞】
H.ヴォルフ：《ミニョンの歌》より〈知っていますか、レモンの花咲く国〉

[弦楽器部門] 浅野華(ハープ)
E.ワルター＝キューネ：《エフゲニー・オネーギン》の主題による幻想曲
鈴木穂波(チェロ)
P.I.チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 op.33

※各部門五十音順



第24回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサート

2019年9月14日(土)18:00 開演(17:30 開場)

静岡音楽館AOIホール(8階)

全自由¥1,800(会員¥1,620、22歳以下¥1,000)

[Pコード：125-812]

※未就学児はご入場いただけません。



蘆澤奈津(マリンバ)



岡本実佳(ソプラノ)



松下美有紀(ソプラノ)



宮田優(メゾソプラノ)



浅野華(ハープ)



鈴木穂波(チェロ)

ご寄附のお願い

静岡市文化振興財団が目指す魅力ある静岡文化の創造について、ご関心のある市民の皆さま、法人・団体の皆さまからの寄附金の受付を行っています。

静岡市のさらなる文化振興の発展のため、有益な事業を展開するための運営費となります。当財団に寄附をしていただいた方は、税制上の優遇措置を受けられます。

寄附をお考えの方、寄附制度について詳しくお知りになりたい方は、ホームページをご覧ください、下記までお電話でお問合せください。



静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

〒420-0857 静岡市葵区御幸町4番地の1
アーバンネット静岡ビル4階
TEL.054-255-4746 FAX.054-653-3501
HP：https://www.scpf.shizuoka-city.or.jp/
e-mail：office@scpf.shizuoka-city.or.jp

お問合せ

静岡音楽館倶楽部会員の皆さまへ

お名前、ご連絡先、銀行口座等、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに下記までご連絡ください。なお、2019年度をもって退会をご希望のかたは、2020年2月末までに、静岡音楽館倶楽部事務局へ退会届をご提出ください。ご提出のない場合は自動更新となりますので予めご了承ください。

静岡音楽館倶楽部 法人会員(2019年5月末現在)50音順

- | | |
|------------------|-----------------|
| ●(株)アオイテレック | ●(株)タミヤ |
| ●(株)SBSプロモーション | ●(株)戸田書店 |
| ●(株)ジェイアール東海ホテルズ | ●(有)丸吉事務機 |
| ホテルアンシア静岡 | ●(株)メディア・ミックス静岡 |

コンサートシリーズ2019-20

主催 静岡音楽館AOI 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団

特別協賛 静岡信用金庫

協賛 アイワ不動産 HD studio FORUM
ホテル センチーリ 静岡 ANSHINDO

助成 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

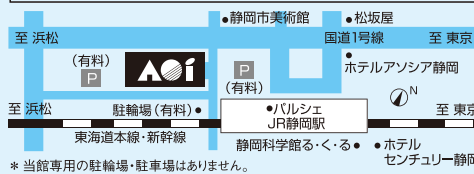
次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

- * 価格は税込です。
- * 都合により内容を変更する場合があります。
- * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
- * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
- * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
- * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください(ただし、1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を優先してご案内いたします)。
- * 静岡音楽館AOIが主催するコンサート(一部を除く)では、未就学児は入場いただけません。



託児サービス
要事前予約(1週間前まで)・託児料：1人1,000円
すわん Tel./Fax.054-255-5377
(火～金 10:00～15:00)
e-mail：swan@xqj.biglobe.ne.jp
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左



月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)9:00～21:30開館
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9
お問合せ 054-251-2200

検索

AOI通信

静岡音楽館倶楽部情報誌

JUN. 2019 No.94

夏号

対談

川本嘉子(ヴィオラ)&小山実稚恵(ピアノ)

デュオ・リサイタル

3MA(スリー・エム・エー)～コラ、ヴァリハ、ウードによるヴィルトゥオーゾ・トリオ～

アフリカ弦楽器の魅力(嶋和彦)

メッセージ 藤木大地(カウンターテナー)・杉山洋一(作曲)

藤木大地&福田進一 デュオ・リサイタル

インタビュー 今田篤

第19回静岡音楽館AOI企画募集事業 今田篤・兼重稔宏 ピアノ・デュオ・リサイタル

第9回 アマチュア・アンサンブルの日♪ 出演団体決定

第14期 ピアニストのためのアンサンブル講座 受講生決定!

第24回「静岡の名手たち」オーディション 合格者決定!



対談 川本嘉子 (ヴィオラ) & 小山実稚恵 (ピアノ)

9月に静岡音楽館AOIで共演する川本嘉子さん(ヴィオラ)と小山実稚恵さん(ピアノ)に、
お互いのことやコンサートについて語り合っていました。

小山 もうずいぶん前、おそらく20年ぐらい前のことですが、川本さんとブラームスの五重奏曲を共演しました。その時に、彼女の計りしれない音楽性を直感して、いつかはデュオをしてみたいと思ったんです。募っていたその思いが、去年の12月によりやく実現しました*。

ヴィオラは基本的に単旋律を演奏する楽器ですが、川本さんの演奏は、その単音の中に込められる和声(ハーモニー)の感覚がすばらしくて……。ピアノを弾きながら、ハッとさせられています。だから共演はとても刺激的。ワクワクします。

川本 小山さんってソリストとしてもすごいピアニストなのに、音楽やピアノに「対峙している」という感じではなくて、とっても柔和で、ずっと穏やかな姿勢であることに、私はすごく惹かれてるんです。いっしょに演奏していてとっても楽しい。演奏中に笑ってしまうくらい(笑) でもコンサートではすごく集中して、ほんとに音楽の「語らい」ができていることが幸せです。小山さんとだからこそ、こんなふうなことができる、ということが喜びになってます。

以前はエネルギーの強い人に憧れていたけれど、小山さんと共演して、そういう音楽に対する柔和で穏やかな姿勢がいいなあって思うようになってきました。自分の人生の中でいくつか分岐点があるとしたら、小山さんと共演することは、かなり大きい分岐点だと思います。自分の音がどんどん変わっていったるように感じてます。自分自身が楽しみ。

小山 川本さんがすばらしい変化を遂げているというか、向上されているのを感じます。繊細でありながらも、ぐっとした強さが彼女の持ち味ですが、その音楽性が進化して日々増幅してる(笑)。20年前にも共演したいと思ったけれど、でも、逆に20年前から共演していたら、お互い今ほど感じることはできなかったかもしれない、と思うんです。このタイミングで、じっくりデュオを作り上げていけるから、色々な意味で本当に良かった。今だからこそ、ヴィオラという楽器の魅力が判る、というか、いっしょに演奏していると、ついつい時間を忘れてしまっていて……。

川本 そうそう、あっという間！ リハーサルもコンサートも。ブラームスって、けっこう体力を奪われる感じがあるんだけど、楽しくてぜんぜん疲れない。

小山 でも川本さんはブラームスのヴィオラ・ソナタが弾きたくってヴィオラ奏者になったというくらい、あの曲が好きなんですよ。魂に響いてくる熱く深い音楽で、ピアノの音域もとても広くて、ブラームスの特別な世界なんだな、と演奏していて実感します。新しい発見もいっぱいあります。

川本 そう、ピアノはシンフォニック(交響的)ですよ。でもブラームスは中音域により親しみを感じていたのではないかと考えているんです。で、今回のプログラムは「ドイツの3大B」、バッハ、ベートーヴェン、ブラームスを探りあげます。普遍的であるクラシック音楽のエッセンスがぎゅっとつまったプログラムです。

ブラームスのコラール前奏曲にはバッハの《マタイ受難



© ND CHOW

曲》の引用があって、それだけでなく、ブラームスの、バッハやベートーヴェンに対する尊敬の念、共感といったものをうまく表現していければと思います。あまりよく知られていないヴィオラという楽器で、よく知られた作曲家たちの、ヴァイオリンやチェロの作品にはない側面を聴いていただきたいと思います。

小山 私にとっての「3大B」は、生涯ゆっくり時間をかけてとりこんでいきたい作曲家。あとはシューベルトも。あ、モーツァルトもかな？(笑) 時間をかけないと見えてこないものがあるし、時間をかけただけ深まっていくものがある。深いし、愛に満ちているプログラムですね、今回。ふたりそれぞれのソロを探りいれているのはAOIだけです。

ピアノという楽器にとって、AOIぐらいの規模のホールは最適だと思っています。ppからffの強い音まで、多彩な音色を使えますし、細かなニュアンスまで無理なく表現できますし……。今回はデュオとソロのそれぞれの音も楽しみたいと思っています。

川本 オルガンのあるホールって、響きのいいホールが多いんじゃないかと思ってるんです。毎年、AOI・レジデンス・クワルテットで演奏してますけど、いい音だなあって思いながら奏いてます。

小山 ホールの響きって、演奏する人にとってすごく大切なことですよね。おたがいのバランスもとやすいし。

川本さんとのデュオは、今後も第一生命ホールなどで続けていきますけど、川本さんとは、ずっと長く歩みながらいものを続けていきたいですね。

* 2018年12月1日 しいきアルゲリッチ・サロン(大分)
3日 アクトシティ浜松
22日 第一生命ホール(東京)

2019年5月14日 東京都港区
取材：静岡音楽館AOI学芸員 小林旬
協力：ソニー・ミュージックエンタテインメント



静岡 室内楽フェスティバル2019

川本嘉子 (ヴィオラ) & 小山実稚恵 (ピアノ) デュオ・リサイタル

2019

9/26 木

19:00 開演 (18:30 開場)
全指定 ¥4,000 [Pコード=125-814]
(静岡音楽館倶楽部会員¥3,600)

22歳以下
¥1,000

曲 目
J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲第2番 二短調 BWV1008
L.v.ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ第31番 変イ長調 op.110
J.ブラームス：11のコラール前奏曲 op.122 より(野平多美 編)
ヴィオラ・ソナタ第1番 へ短調 op.120-1



アフリカ弦楽器の魅力

嶋和彦
(浜松市楽器博物館前館長)



コラ はアフリカのマリやギニア、セネガル等に伝わる弦楽器。ギターや三味線と同じく胴と棹からなる。胴は瓢箪製の大きな半球で開口部に牛革を張る。21弦が標準で、ギターのように胴表面と平行ではなく、ハーブのように縦に張る。そして持ち方が想像を超える。坐奏では胴体を手前にして奏者の膝に置き、棹をまっすぐに向こう側に突き出すのだ。胴から出た2本の取手を両手で持ち、楽器を支えながら両手の指で弦をはじく。その音色の何と美しいことか。コラを伝承してきたのはジャリ(グリオ)と呼ばれる世襲の音楽家。かつては王の系譜や英雄の武勲を語り伝えた。今では国の重要な儀式や人々の祝い事で演奏される。



ヴァリハ はアフリカ大陸から離れたマダガスカル島の楽器。竹筒琴(ちくとうきん)という種類になる。竹筒の周囲に、軸の方向に、ぐるりと竹筒を一周するように弦を張る。弦は今では金属弦。両手で竹筒をはさむように持ち、両手の指で弦をはじく。竹筒に共鳴して爽やかな愛らしい音が出る。伝統的には竹の表面をナイフで切り出して駒を挟み込んだ竹弦で、この場合は音は渋い。フィリピンやマレーシアにも同種の楽器があるので、ヴァリハは東南アジアから伝わったと研究者は考えている。



提供：浜松市楽器博物館

ウッド はアフリカというよりも西アジアや中東のアラブ世界の伝統楽器。人々の誇りであり自由な精神の象徴とされる楽器である。アフリカといってもサハラ砂漠以北は西アジアや中東との関係が強いからウッド文化があるのだ。ウッドはヨーロッパのリュートにつながっていくのだが、リュートとの違いはフレットがないこと。だから半音よりもっと細かい微分音が出せる。音階に慣れるには時間がかかるが、慣れると心地よい。

この3つのはじく弦楽器は、歴史的にも構造的にも無関係だが、日本では聴く機会の稀な貴重な楽器である。西洋音楽に慣れ親しみ過ぎている日本人には、音階、音程、リズム、メロディ等すべてが異質に感じられるだろうが、ぜひ聴いてほしい。アフリカ音楽の多様性と、その中に潜む懐かしいアジアを感じるはずである。

アフリカ マリ、マダガスカル、モロッコの弦楽器による三重奏

3MA
～コラ、ヴァリハ、ウッドによるヴィルトゥオーゾ・トリオ～

2019
10/19 土 **22歳以下
¥1,000**

18:00 開演 (17:30 開場)
全指定 ¥4,000 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,600)
[Pコード=125-816]
※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

出演
3MA
バラケ・シソコ (コラ/マリ)
ラジェリー (ヴァリハ/マダガスカル)
トリス・エル・マルミ (ウッド/モロッコ)

曲 目
Anarouz (希望)
Samedí Glace (土曜日の憂鬱)
Moustique (蚊)
Hanatra (息子へのアドバイス)
Lova (愛)
Aretina (病気と人種差別)
Taxi Brousse (タクシー・ブルース)
Toufoula (幼かった頃)
Morengy (モラング) ほか

メッセージ 藤木大地 (カウンターテナー) ・杉山洋一 (作曲)

出演者の藤木さんよりメッセージが届きました。
藤木さんはAOI初登場です。

現代に生きる作曲家の皆さんと新しい音楽作品を最初に世に届け、それが世の中に広まっていくさまを見つめるのは、われわれが学校で習った音楽史を後世に引き継いでいく大切な仕事であり、また自分という演奏家がこの世界に存在したことをだれかに覚えておいていただけるありがたい機会でもあります。これまでに、少なくない「世界初演」に携わらせていただいてきましたが、この度こうして、杉山洋一さんの新しい作品を、福田進一さんとともに静岡で生み出せること、静岡のオーディエンスの皆さんと新たな音楽史誕生の瞬間を共有できることをとても光栄に、そしてとても楽しみにしています。どうもありがとうございます。



2019年度静岡音楽館AOI委嘱作品《鳥の飛行について―レオナルド・ダ・ヴィンチによる― カウンターテナーのための》を作曲した杉山洋一さんより、作品についてメッセージが届きました。

ダ・ヴィンチが1519年に没し今年で500年を迎えます。今回の藤木さんと福田さんのための新作は、私の住むミラノにも所縁の深いダ・ヴィンチがテーマです。ダ・ヴィンチが若くしてフィレンツェのヴェッロッキオの工房で働きだした頃、ルネサンス真っ盛りのフィレンツェでは、大規模なからくり劇が人気を博していました。「突然空が開き、宙に浮かぶ神様が奇跡のように現れ」たり、「天使が天高く昇ると、歓声をあげ羽ばたきながら飛回る」機械じかけの舞台装置を工房で多く手がけた経験が、彼を飛行装置への研究と情熱へ駆立ててゆきます。後年ミラノの宮廷で働きながら最新の科学を学び、53歳でこの「鳥の飛行について」を記す頃には、すっかり立派な科学技術者、発明家になっていました。この作品はミラノで彼が演劇用に造った「龍の頭をしたらリ」を従え、空を翔ける鳥を目で追いつつ、まだどこかあどけない少年ダ・ヴィンチが、嬉々として劇に興じる姿を描きます。

2020しずおか文化プロジェクト
静岡市文化振興財団

藤木大地 & 福田進一
デュオ・リサイタル ～歌とギターの調べ～

2019
10/31 木 **19:00 開演 (18:30 開場)**
全指定 ¥4,000 [Pコード=125-820]
(静岡音楽館倶楽部会員¥3,600)
※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

曲 目
J.S.バッハ：アリア (ゴルトベルク変奏曲 BWV988 より) (福田進一 編) (ギター・ソロ)
G.カッチーニ：アマリッリ
V.ベッリーニ：優雅な月よ
M.カステルヌオーヴォ＝テデスコ：流浪のバラード
セゴビアの名によるトナディーリヤ op.170-5 (ギター・ソロ)
杉山洋一：鳥の飛行について ―レオナルド・ダ・ヴィンチによる― カウンターテナーのための
(2019年度静岡音楽館AOI委嘱作品・世界初演)

武満徹：波の盆 (鈴木大介 編) (ギター・ソロ)
武満徹：《ソングス》より《燃える秋》《死んだ男の残したものは》
木下牧子：鴉
加藤昌則：旅のころ
木馬

静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

講演会「レオナルド・ダ・ヴィンチの絵画と手稿」
日 時：10月11日(金)14:00～16:00
会 場：アイセル21 静岡市奨生涯学習センター 31集会室(3階)
講 師：静岡市美術館 学芸員 伊藤 祐
対 象：どなたでも(30人)申込順
参加費：無料
申 込：9月27日(金)10:00より電話にて
アイセル21 静岡市奨生涯学習センター(054-246-6191)
レオナルドの代表作と彼が残した手稿(直筆ノート)について紹介します。

「レオナルド・ダ・ヴィンチに学ぶ! 身近な道具のふしぎ」
日 時：2019年10月13日(日)①10:30～12:00 ②13:00～14:30
会 場：静岡科学館・く・る 創作ルーム(8階)
講 師：富山県立大学 神谷和秀教授
対 象：小学生以上、各回20人 申込順
参加費：無料(静岡科学館・く・る入館料別途)
申 込：9月1日(日)9:30より電話にて
静岡科学館・く・る(054-284-6960)

レオナルド・ダ・ヴィンチのスケッチをもとに作られたカラクリ工作キットを使って、機械の不思議について学びます。ハサミやコショウの容器、斜なしホチキス等はどうやって動いているのでしょうか? 身の回りの賢いカラクリについても紹介します。

静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業について
JR静岡駅のすぐそばに位置する、静岡音楽館AOI、静岡科学館・く・る、静岡市美術館、静岡市の文化をより豊かなものにするために、それぞれの特長を活かしながら分野を超えた共同事業を開催しています。音楽×科学×美術のコラボレーションによって生まれる新しいイベントに参加してみませんか。

インタビュー 今田 篤 (ピアノ)

8月23日に第19回静岡音楽館AOIコンサート企画募集事業「今田篤・兼重稔宏 ピアノデュオ・リサイタル」でAOIに登場する今田篤さんにお話をうかがいました。

ピアノを始めたのは何歳のときですか。

3歳の時からヤマハの音楽教室に通い始めました。始めた時のことはあまり詳しく覚えていませんが、母の勧めでピアノを始めたようです。

高校から音楽の道へと進まれています。音楽を専門的に学ぼうと思った理由やきっかけを教えてください。

中学生になり勉強する曲の難易度が上がり、練習時間が増えました。それまで以上に自分の中で音楽の占める割合が増え、より本格的な勉強をしたいと思い、上京することを決意しました。

イギリスとドイツに留学されていらっしゃるんですね。留学先の決め手はなんだったのでしょうか。

どちらも先生です。ロンドンで習ったD.アレクセーエフ先生は演奏家として大変懂れていた方で、ロンドンで教鞭をとっていらっしゃることを知り、講習会を受けて先生に相談しました。ロンドンでロマン派やロシア音楽を沢山勉強した後、古典やバッハの作品をもっと勉強したいと感じ、ライブツィヒでG.ファウト先生と勉強することを決意しました。

影響を受けたピアニストはいらっしゃいますか。

高校からずっとお世話になっている伊藤恵先生です。楽譜の読み方から音楽の表現の仕方は勿論、精神的なことや哲学的なアドバイスまでたくさんいただきました。ヨーロッパで色々な経験を積み、先生がレッスンを通してどのようなことを伝えたかったのかということが少しずつわかってきたような気がします。

好きな作曲家について教えてください。

たくさんいるので一人を選ぶことは大変難しいですが強いて言えばシューマンです。シューマンの音楽にはフロレスタンとオイゼビウスに象徴されるように二面性があります。僕自身周りから二面性があると言われ、シューマンのそれにとても共感できる箇所が多くあります。

コンクールも積極的に受けていらっしゃるようです。昨秋の「浜松国際ピアノコンクール」での第4位入賞、おめでとうございます。これからどんなピアニストになりたいですか。

昨年の浜松では大変幸運にも良い結果をいただくことが出来ました。コンクール、コンサートに関わらず常に自分の出来る、等身大の演奏をしていきたいと心がけています。個性のある音色を持った演奏家になれるよう更に磨いていきたいと思っています。

現在、ドイツで生活されていますが、ライブツィヒはどんなところでしょうか。また、毎日、どんな生活をされていますか。

以前住んでいたロンドンと比べてかなり小さく静かな街です。自然が多くとても美しいです。基本的には練習して過ごします。その他は食べることが好きなので毎日自炊して日本食を食べています。旅に出ることも多いので自宅でゆっくりすることも大切な時間です。

共演者の兼重さんについてご紹介ください。

藝大の附属高校からの先輩で、大学そしてライブツィヒでも同じ先生のもとで勉強しています。とても明るく一緒にいると笑いが絶えませんが、音楽のことになるととても真面目で妥協がありません。今回初共演となりますが今から非常に楽しみです。

演奏曲について、選曲理由、聴きどころなど詳しく教えてください。

今二人が住んでいるライブツィヒをテーマにプログラミングしました。2台ピアノの主要レパートリーのブラームスの他、知られざる名作のシューマン＝ドビュッシーやモシェレス等聞き馴染みはないけれども充実した作品を選び、2台ピアノの掛け合いの美しさや迫力を存分に楽しんでもいただけるのではないかと思います。

公演に向けてお客様へメッセージをお願いします。

自分たちがどのような場所で勉強をし、そこにはどのような音楽的な歴史があったのかということ演奏を通して楽しんでいただけたらとても嬉しいです。昔から応援してくださる方々も多くいるので、自分たちが出来る最高のパフォーマンスをして恩返しを出来るよう頑張りたいと思います。



今田篤・兼重稔宏 ピアノ・デュオ・リサイタル

8/23 [金] 19:00 開演 (18:30 開場)

全自由 ¥3,000 [Pコード=134・119]
(静岡音楽館倶楽部会員 ¥2,700、22歳以下 ¥1,000)
※未就学児はご入場いただけません。(託児サービスあり)

出演 今田篤・兼重稔宏 (ピアノ)

曲目 J.S.バッハ=G.クルターク：カンタータ集 より
I.モシェレス：ヘンデルへのオマージュ op.92
R.シューマン=C.ドビュッシー：カノン形式による6つの練習曲
J.ブラームス：2台のピアノのためのソナタ へ短調 op.34b



第9回 アマチュア・アンサンブルの日
11/23 (土・祝) 12:00 開演 (11:30 開場) ※18:40 終演予定

無料
(申込不要)

第8回アマチュア・アンサンブルの日
(2018.11.23)
撮影：日置真光

出演

第1部 12:00 開演

とじぼん&とじぼんこ (リコーダー、チェンバロ)
かけくら☆とりお (クラリネット三重奏)
アンサンブル・ヴァン・ルージュ (弦楽三重奏)
DeCies (チェロ四重奏)
ラリレロ (弦楽合奏)
ムジカ・ブリュメ (弦楽合奏)

第2部 13:45 開演予定

アニロ・グランデ (ギター二重奏)
アンジェリカ (エンジェルハーブ・アンサンブル)
Re Born (リコーダー・アンサンブル)
MYROS (リコーダー・アンサンブル)
フレンズ (マンドリン・ギター・アンサンブル)
サウンド・オブ・ドリーム (ギター・アンサンブル)



第14期「ピアニストのためのアンサンブル講座」 受講生決定！

第14期を迎えた「ピアニストのためのアンサンブル講座」。今期の受講生5名が決定しました。8/6(火)から2/9(日)の修了記念コンサートまで、3名の講師の指導のもと、全10回の講座を行います。ピアノ三重奏ではベートーヴェンに取り組みます。

受講生



岩下真麻



島多璃音



関屋茉莉子



竹田俊亮



中桐望

！
聴講生随時募集中！
22歳以下の方は無料です。
ぜひご来場ください。

日程／

2019 ①8/6(火)、②7(水)、③9/11(水)、④12(木)、⑤11/6(水)、⑥7(木)、⑦12/4(水)、⑧5(木)、2020 ⑨2/8(土)、⑩9(日)

内容／

〈奇数回〉13:30～19:30 実技レッスン
〈偶数回〉10:00～19:30 アナリーゼ
講義～奏者の視点から～②⑥
ピアノをめぐる音響を考える④⑧
実技レッスン

①②はチェロ、③④は三重奏、⑤⑥はヴァイオリン、⑦⑧は三重奏、⑨はすべて、⑩は修了記念コンサートを開催予定。

会場／静岡音楽館AOI ホール(8階)、及び講堂(7階)

講師／野平一郎(作曲家、ピアニスト、静岡音楽館AOI芸術監督)
漆原啓子(ヴァイオリン奏者)
向山佳絵子(チェロ奏者)
倉田尚彦(株式会社松尾楽器商会 調律師)*④⑧講義講師

聴講料／一般：¥1,000

22歳以下：無料(当日、年齢が確認できるものをお持ちください。)
10回通し券：一般 ¥9,000

※静岡音楽館倶楽部会員は無料です。
(ただし、レッスンのみ。アナリーゼ、講義は有料。)